

四日市大学留学生新聞

編集 ダンゴル ショバ(環境情報3年) シュレスタ プラカシュ(環境情報3年) チャン ティ ツウイ(経営3年) 張 佳琪(経済2年) 何 敏敏(環境情報2年) 石 歆(環境情報2年) 辺 莉莎(環境情報2年) ヤン ナイン ミョ - (環境情報2年)

2013年夏休みの留学生研修旅行

大学の夏休みに、多くの留学生が参加して「東京都の研修旅行」が実施されました。大学における学習の一環で、私が日本に来て、初めての研修旅行でした。参加に当たって驚いたことは、研修旅行の参加費が安かったことです。大学から補助があるからだと聞きました。ふだんはなかなかできない旅行ですが、大学のおかげで皆さんと一緒に3日間を過ごせて、楽しかったです。旅行には留学生だけではなく、私の友達(日本人)も参加しました。

初日に名古屋駅から新幹線で行くとき、ほかの参加者の皆が笑顔で私に挨拶をしてくれて、私には最高の日でした。到着してまずスカイツリーに驚きました。世界一高いスカイツリーの高さは634mで、スカイツリーの足元から見ると自分の首を90度に回しても、上まで見られないほど高いです。形は、足元は三角で、高くなるにしたがって円形に変わります。スカイツリーの一番上(天望回廊)450mから見える景色



で東京を満喫し、幸せな気持ちになりました。その後、江戸東京博物館に行き、その日は新宿ニューシティホテルで食事をして泊まることになりました。早く寝たので、一日の疲れは取れました。

二日目の行程の中では浅草観音と海ほたるが一番好きです。浅草寺では私の目標である勉強の成功を祈り、雷門で写真を撮ったりして過ごしました。そこは有名で、多くの外国人を見かけました。そして船に乗って、昼食を皆と一緒に食べて、自由時間となりました。休憩した場所の近くにフジテレビの建物があるので、そこへ行ってみましたが、残念ながら芸能人を見られませんでした。その後、海ほたるに行きました。疲れ気味でしたが、海の風に当たると元気になりました。私は、海(強い潮流)に橋を造る日本の技術は素晴らしいと思いました。その日、海の近く龍宮城・スパホテルに泊まりました。夕食は珍しい和食を食べて、交流会にも参加し、楽しかったです。

三日目、カップヌードルミュージアムでの製作体験では、カップヌードルを自分で作れて嬉しかったです。日本文化である鎌倉大仏も見学し、一生忘れないだろうと思うような強い印象を受けました。3日間の旅行は短いものでしたが、楽しかったです。もし、またこういう機会があれば、行きたいです。今後皆さんも是非参加して、楽しい時間を過ごしましょう。

日本再発見の旅

今年の夏休みは、とても嬉しいことがありました。学長から「Discover Japan - 日本再発見の旅」の奨学金をいただいたからです。毎年、受賞者は自分の行きたい日本の有名な所に行くことができます。今回私は、ベトナム人の友人二人と一緒に広島に行くことができました。単なる旅行ではなく、様々な事を勉強することができました。私たちが広島に行った日は8月6日、この日は世界が初めて核兵器の恐ろしさを知った日、世界中からこの日の平和記念式典に参加する人々が広島に集まりました。この日、一番印象深かったのは、「原爆でたくさんの方が死んだ。熱でグラスや石、何でも溶けちゃったよ」と話したおばあさんの言葉です。私は、想像しただけでも核兵器が怖くなりました。全世界から核兵器を一切無くしたいと思いました。それだけではなく、この日、デモが町中で行われました。私は、初めて日本のデモを見ましたが、とても素晴らしかったです。

デモはルール通り行われ、通行の邪魔にはなりません。私は、このように整然と行われるデモシステムが、自分の国でも同じように出来たらいいなと思いました。広島は、景色の綺麗なところもたくさんありました。私が一番好きな場所は宮島です。港から船に10分位乗ると宮島に着きました。そこには、世界遺産として登録されている厳島神社があり、海上に大きな赤い鳥居があります。とても綺麗でした。子供の時、この鳥居をテレビや本で見たことがありましたが、この日は、自分の目の前に建っていました。すごく感動しました。このような機会を与えていただき、感謝の気持ちで一杯です。だからこそ、皆さんにも、ぜひこのチャンスを逃さないように、次回チャレンジしてほしいと思います。



(留学生支援センターホームページより再掲)



伊勢湾海洋調査実習の感想

7月23日から25日までの2泊3日で伊勢湾から熊野灘を行き来して、海の環境問題を学びました。千葉ゼミと高橋ゼミ、環境情報学部の20名の学生と2名の教員が参加しました。三重大学の勢水丸をお借りして行きました。初めての海洋調査実習でしたが、3日間楽しく過ごしました。初日の23日の天気は晴れ時々曇りで、太平洋に出ると多少うねりがあり、船酔いになる学生も少しいましたが、調査は予定通り行うことができました。調査中にイルカの群れを見ることができてみんな一番喜んでいました。

夜釣りでは、今年もみんなでサバを釣りましたが、去年よりも大型で数は少なかったそうです。私も50匹ぐらいサバを釣りました。予想以上に楽しいサバ釣りでした。一回目で5匹釣れました。初めての魚釣りでしたがたくさん釣ることができ、自分でも嬉しかったです。夜中から朝までずっと釣りをしました。

2日目の午前中は雨となり、一時は雨合羽が必要になるほどでしたが、午後には回復し、調査実習は予定通り進めることができました。午前中まで船酔いの続いた者もいましたが、伊勢湾内に入り、船の揺れがおさまってくると、午後からは皆、元気になりました。調査の方法にも次第に慣れ、比較的ゆっくり、しっかりと予定していた6地点の調査を行うことができました。2日目は伊勢湾沖の地点から伊勢湾内の鈴鹿沖まで北西方向に進む航路で調査を行い、伊勢湾内外の環境の違いを学びました。鈴鹿沖まで来ると海底付近は貧酸素になり、海底の泥も硫化水素臭が強くなりました。調査は、CTD装置(水温・塩分・水深・植物プランクトン量等を測る装置)による水質調査、採水調査、採泥調査、プランクトンネットによる調査、けた網(底引き網)によるベントス調査、ADCP装置(超音波式流速計)による流動調査などを実施しました。2日目の夜は、前日釣れたサバを焼いてみんなで美味しく食べました。

3日間本当に楽しかったです。先生、友達の皆さんと三重大学の勢水丸のスタッフみんなに感謝しています。チャンスがあれば次回もぜひ参加しようと思います。



日本語学校の見学会

2013年8月8日、日本語学校を対象とした四日市大学見学会を開催しました。私は在校生協力者として参加しました。私たちの目標は二つあります。一つは来校者と一緒に楽しく過ごすことです。二つ目は「四日市大学留学生は、親切で礼儀正しい」と言っていたことです。

当日10時40分、四日市大学の9101教室で見学会が始まりました。ちょっと残念なことは私の卒業した日本語学校が参加していなかったことです。そして、私は愛知国際学院のチームに入りました。簡単な自己紹介の後、愛知国際学院の先生と学生に四日市大学の学生生活や学習内容を伝えました。

見学会は7つの部分に分けて実施されました。大学概要説明、留学生入試説明、ミニシンポジウム、授業体験、キャンパスツアー、ランチ体験、先輩留学生との交流です。

その日、参加者が一番気に入ってくれたのはキャンパスラリーです。宝探しゲームを通じて、日本語学校の学生は校内施設を見学しました。ゲーム中、みんなは優勝するためお互いに協力して、友達になりました。15時20分、見学会は良い雰囲気の中で終わりました。日本語学校の先生と学生をお見送りする時、この日本語学校生たちは来年の4月に私の後輩になるかもしれないと思いました。一日楽しく過ごしていただきました。私にとっても、いろいろな日本語学校の先生と学生に知り合って、大学の見学会に協力して、有意義な一日でした。

環境情報学部環境情報学科2年 辺 莉莎

大学祭のお知らせ

「Human Magic、私達にできること」というテーマで、一年に一回の四日市大学大学祭が10月26、27日に開催されます。

皆さん、発想力を使って、自分にできることが何だろうかと探してやってみる、それは一瞬のできごとです。しかし、その一瞬は大学生活を終えた後、自分の姿を美しく残し、必ず人生の宝の蔵になります。勉強に飽きたり、アルバイトにも疲れたいしている方たちは、誘い合って一緒に大学祭に遊びに来てください。

昨年の大学祭の後、次の大学祭をずっと楽しみに待っている皆さん、

今年は本当に運がいいですよ。今年の模擬店出店数は過去最大店舗数を目指し、昨年度より増えています。四日市大学大学祭の伝統的な焼きそばやたこ焼きは引き続き出店され、さらに可愛いホットケーキなどの新しい店舗も出る予定です。楽しみにしててくださいね。また、地域との共生をめざす活動も引き続き行います。地域の人との交流を重要視したいと考え、今年は外部団体による模擬店も昨年より増加しました。さらに、じゃんけん大会や、カラオケ大会などの企画もあります。皆さん、にぎやかな大学祭を創ろう。ご来場を心よりお待ちしております。



経済学部経営学科2年 張佳 琪

沖縄ゼミ旅行

柴田ゼミ

今年の夏は楽しかったです。 インターンシップに参加したり、ゼミの研修旅行に行ったりと充実した夏休みを過ごしました。ゼミ旅行は沖縄です。日本に来る前は、日本と言えば東京や京都でしたが、インターネットやテレビで沖縄を知ってからは、沖縄行きが旅行好きの私の夢になりました。夢が実現できてとても満足です。

9月12日午前に那覇空港に到着しました。着いた印象は、「えっ、暑っ!!」です。私たち12名は、レンタカーで「沖縄ワールド・文化王国村」に行きました。いろいろありましたが、熱帯フルーツ園での沖縄産パインやヤシの実ジュースが私のお気に入りです。それから、でっかい白蛇を首に巻いての記念撮影もしました。幸運の白蛇だそうで、これからどんな幸運なサプライズがあるか楽しみです。次に首里城に行きました、1990年代に再建されたそうですが、華やかな琉球王朝を間近に見ることができ、「本土」と違う文化を体験できました。そこには、とても美しいスタンプがたくさんあって、私は残さず押してきました。夕食は地元の料理、飲み物はトロピカルで最高です。宿泊是那覇中心街からすぐ近くのホテルでした。

二日目で一番良かったのは、やっぱり「美ら海水旅館」です。中に入るまでが、また、とってもきれいで、気持ちいい！水旅館では、とても大きな水槽で優雅に泳ぐマンタやジンベエザメに出会えます。さわれるほど近くに見る彼らは迫力満点です。

三日目は那覇に戻り、国際通りで老舗(しにせ)のソーキそばを食べました。「ソーキ」は豚の肋骨のところの肉を柔らかく煮込んだもので、たぶん、ベトナム人はみんな好みかも。三重県にもあるチェーン店のスーパーに入りましたが、豚足(とんそく)とか豚の顔の皮などを普通に売っていて、「所変われば品変わる」と勉強になりました。すごく多くの土産物店がありました。たくさん買い物をして、荷物は重く、財布は軽くなって帰途につきました。

三日間は短かったけれども、先生や友達にお世話になり、天候にも恵まれて、とても有意義なゼミ旅行でした。それから、先生が旅行のビデオをカッコよくつくってくれました。ありがとう、先生。

経済学部経済学科3年 ホアン フーン タオ

小林と岩崎ゼミ

9月の5日から9日まで小林ゼミと岩崎ゼミの合同ゼミ旅行として沖縄へ行って来ました。2年生から4年生までの学生がいたので本当に楽しかったです。

9月5日、名古屋から飛行機に乗ったとき名古屋は大雨でしたので、皆沖縄の天気の話が心配でしたが、名古屋と違って沖縄はとても良い天気でした。2時くらいに沖縄に着き、レンタルカーで世界遺産である「せーふあうたき(斎場御嶽)」に行きました。その後、夜7時ごろ、国際通りにあるJTBホテルに泊まりました。国際通りに泊まったので、買い物もとても便利でした。次の日は陣地壕(じんちごう)、琉球村、玉陵(たまうどうん)、普天間などに行きました。

帰る前日は、一日中、残波ビーチで海に入って過ごしました。

総合政策学部総合政策学科4年 ギミレ ディパク

ボランティア活動は留学生にとって必要か

私は、ボランティア活動は留学生にとっては必要なことだと思います。現在の社会では、誰も地域で豊かに暮らせる社会を目指し、福祉、生活支援、文化支援など様々な支援活動が行われています。私は、最初はボランティアの大切さを知りませんでした。学校でよくボランティア活動の募集もあったが、まったく気にしていませんでした。

しかし、2011年3月の東日本大震災での被害で、私はボランティアの重要性がわかるようになりました。大震災で各国の人が、少しでも被害にあった人たちの助けになるように、いろいろな支援をしてきました。確かに、一人の力では、大きな被害にあった人にとっては役に立たないかもしれません。だが、そのひとたちを応援したい気持ちは一人ではありません。たくさんの人が集まって、力をひとつにし、困っている人を助けようとしています。そんな人たちの姿を見ていると、すごく元気付けられました。私もその人たちの力になりたいと思いました。

留学生にとってボランティア活動は、日本人といろいろな場でふれあい、つながりを持ち、お互いに学ぶ機会を与えます。また、ボランティア活動をすることにより、様々な知識、技術を身につけたり、他人といろいろな問題に直面してその解決方法を見出すなど、ボランティア活動で自分の能力を伸ばすことも出来ます。

ですから、私はボランティア活動は留学生にとっては必要なことだと思います。

環境情報学部環境情報学科 2年 孫 潔

ゼミの選択のポイント

皆さん、ゼミの授業をどう思いますか？楽しく勉強していますか？大学に入学して、1年生から2年生の前期までのゼミ授業は学期によって好きな先生、また好きな科目を選べますが、2年生の後期からは卒業するまでのゼミの先生を選ばなければなりません。ゼミは非常に大切だと思いますから、できれば多くの先生の面談に行ったほうがいいと思います。そして先生の話聞いた後、自分が勉強したいことから選んだほうがいいと思います。ゼミの先生は自分のことを全部見てくれますから、困ったことや相談したいことがあったらいつでもゼミの先生に相談できます。特に就職活動や卒業小論文の方針をちゃんと教えてくれると思いますので、しっかり選んだほうがいいと思います。また、たくさんの先輩たちにもゼミの授業と先生の指導法などについて聞いて、一番いい先生を選んだほうがいいと思います。しっかり選ばないと自分も勉強にならないし、時間も無駄になるからしっかり考えてからゼミの先生を決めたほうがいいと思います。皆さん、ゼミは楽しいです！頑張ってください。

経済学部経営学科 3年 チャン ティ ツウイ

平成25年度私費外国人留学生奨学金

留学生を対象とした奨学金が今年度も給付されました。受賞者の皆さん、おめでとうございます。

- * 文部科学省外国人留学生学習奨励費（日本学生支援機構）
平成 25 年度受給者（1 年間）14 名
平成 25 年度後期受給者（6 ヶ月間）4 名
- * 三重県私費外国人留学生奨学金（三重県）平成 25 年度合格者
李 聖君（総合政策学科 4 年 リ シュンジュン）
王 冰（経営学科 4 年 オウ ヒョウ）
ホァン フーン タオ（経済学科 3 年）
- * 国際ソロプチミスト三重奨学金（国際ソロプチミスト三重）
ダンゴル ショバ（環境情報学科 3 年）
- * 第 9 回留学生による日本再発見の旅 宗村南男留学生奨学金「DiscoverJapan」
ディン ティ カム（経済経営学科 1 年）
ブイ タン タム（経済経営学科 1 年）
レイノルド ジャヤ プディマン（経済経営学科 1 年）

学外交流の感想

9 月 13、14 の両日に暁高校の文化祭で私たちベトナム人とインドネシア人とで、国の文化紹介をしました。本当に楽しかったです。

一週間前から、いろいろなことを準備しなければならず、国の観光地の写真を探したり、簡単な言葉を書いたりしました。インドネシア出身の学生はレイさん一人しかいません。彼は、13 日だけ参加しました。

当日、加納先生や留学生支援センターの大橋さんが迎えにきて、一緒に行きました。暁高校の最初のイメージは、学校が大きくて、校舎や駐車場も広くて、山のそばにあり、「こんな学校はベトナムにない、さすが日本」と感心しました。暁高校国際交流のブースの一角を借り、みんなで協力して持ってきた写真や、民族衣装、教科書、雑貨などを飾りました。ベトナムの特産のコーヒーを販売するので、準備しました。そのほかには、高校生の商品を宣伝し、大きな声で誘い、面白かったです。私たちのブースの近くには演劇室や、英語室もありました。また、高校生の皆が国際交流部に来て、私たちがいろいろ説明をしました。ある一年生の男子学生は、ホーチミンやベトナムのことをよく知っていて、びっくりしました。その後、カムさん、フィーさん、レイさんを代表して、新聞記者のインタビューに答えました。

二日目は、フィーさんとホアさんに代わり、アンさんが参加しました。今回は多くのお客さんがコーヒーを買ってくれました。準備したカップや、ストロー、練乳、氷までもなくなってしまい、売り上げは二日間で 90 杯でした。忙しかったが、コーヒーを作ったり、声をかけたり、ベトナムの紹介をしたりしたから、うれしかった。しかし、一番嬉しかったことは、女子高生の 4 人から私の顔が有名な俳優と似ているといわれて、写真を一緒に撮ったことです。さらに、絵葉書にサインしてもらいたいといわれて、すごくワクワクして、びっくりしました。二日間、ベトナムの文化紹介ができて、新聞に載せてもらい、本当に嬉しい。最高の夏休みだと思います。また、機会があれば、もう一回参加したいと思っています。

経済経営学部 経済経営学科 1 年 ブイ タン タム

インターンシップの感想

四日市都ホテルで10日間研修をしました。一日約7時間働きました。

仕事の中で一番難しいのはお客様との会話、いわゆる接客だと思います。なぜなら、お客様のニーズが様々あるからです。お客様の満足を得るため、一つ一つのニーズに丁寧に対応するのが大切だと思います。この対応ができるためには、判断能力やコミュニケーション能力が必要です。さらに、研修のおかげで、ホテルの従業員たちやお客様など様々な人と会うことができました。皆と会話すると、世の中でまだわからないことがやっとわかってきました。

社会人の生活は、忙しくて大変だと思います。一日の長い時間、仕事をして、責任も重くなるので、楽しく仕事をするのが大切なことです。今回の研修で楽しく仕事をする方法を見つけました。それは一つ一つの仕事の意味やお客様の反応を考えながら仕事をするです。お客様から感謝の言葉をいただき、満足した顔を見ると仕事の成果を実感できました。その時、非常にうれしくなりました。また、職場の人間関係も大切です。なぜなら、皆と会話をしながらお互いに仕事ができれば楽しいからです。将来、サービス業に勤めたい私にとって今回の体験は非常に貴重だと思います。就職活動、生活などでも今回の体験をどんどん活かしたいと思います。これから、日本の最高のサービスを深く学んで、ベトナム人にもこのような最高サービスを伝えられるように頑張りたいと思います。

経済学部経営学科3年 チャン ヴァン アン

弁論大会のお知らせ



第10回四日市大学留学生日本語弁論大会

時間：2013年10月17日(木) 午後16時30分開始

場所：四日市大学ADV教室

第10回四日市大学留学生日本語弁論大会を開催します。本学の留学生たちが、今、感じていること、体験したこと、伝えたいことなど、強い思いをスピーチの形式で発表します。今回参加する学生さんは中国とネパールの出身者です。予選があり、そこで選抜された学生が出場します。選抜された6名の学生はさらに準備をして、十分に自信を持って、チャレンジをします。結果の発表も当日行います。上位の学生には賞が与えられます。

この弁論大会は、単なる「試合」ではなく、日本語能力を高め、国際交流の機会であり、客観的な視点で日本社会を理解することもできます。留学生の皆さんによって、発表する人も、聴く人も、成長することができます。先生たちも、大変支援してくださいました。

多くの皆さんのご来場をお待ちしております。ぜひ、皆さんで応援に来てあげてください。どうかよろしくお願ひします。

環境情報学部環境情報学科2年 石 歓

留学生新聞第25号のお詫びと訂正

新入生オリエンテーション 環境情報学部(合宿) 執筆者

(誤)環境情報学部環境情報学科2年 辺 莉莎

(正)環境情報学部環境情報学科1年 付 柔

お詫びして訂正いたします。